

【表紙】

子宝行進曲 全一卷

【表紙 裏】

【1頁】

(発声フィルム式)

子宝行進曲

全一卷 二七〇米

台湾総督府

N第一七八四号

検閲済

有効期間

自昭和十五年八月十九日

至昭和十八年八月十八日

活動写真「フィルム」検閲

規則第十条第二項ニ依リ

手数料ヲ免除ス

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

子宝行進曲 全一卷

【4頁】

梗概

お山に朝が訪れました。一日の仕事が始ります お猿さんの家では子供が沢山ゐて、いつも大変な騒ぎです それにくらべて熊さんの家と狸さんの家は どちらも一粒種なので親子三匹仲睦まじく

暮らしてゐました。子供のいたづらに何時も困りきつてゐる

お猿夫婦は、子供の多いのに閉口してゐました。ところがもの

凄い嵐がお山を襲ひました 熊さんの家も狸さんの家も流

されてしまひました。さあ大変。兄弟を総動員した大猿、

小猿の目醒ましい働きで皆んな助かりました。嵐が凧んで

お山に再び輝やく朝が来た。子供は多ければ多いほど非常

時の役に立つ。お山は産めよ殖やせよ地に満ちて日増に栄へました

【5頁、上段】

字幕

1、子宝行進曲

加治商会作品

2、音楽 ポリドール

管弦楽団

編曲 太田 畔三郎

録音 K S トーキョー

3、作画 山本 早苗

1

【5頁、中段】

説明

【5頁、下段】

音楽擬音

音楽

【6頁、上段】

【6頁、中段】

1、お山に朝が来ました

2、お猿の家では 次か

ら〜と子供が産ま

れて 鈴ホリのお家

はどれもこれもぎっ  
しり超満員の盛況で  
す。

3、こう子供が多くては  
やり切れないね

4、第一喰べるだけでも  
並大抵なことではな  
いよ

【6頁、下段】

小鳥の声  
ラッパの音

【7頁、上段】

2

【7頁、中段】

5、それに引き換へて、熊さんや  
狸さんの家は子供が一人で羨  
しい位静かですよ

6、お父さん、ごらんなさい 坊や  
は一人でおとなしく遊んでお  
ますよ

7、さあ坊や、うんと喰べて、早く大  
きくなるんだよ

8、夜が明けたよ 夜が明けたよ

9、あ まだ寝てらあ

10、よしでは奥の手をつかふぞ

【7頁、下段】

音楽

リン音

【8頁、上段】

【8頁、中段】

11、へへ どんなもんだい

12、稼ぐに追ひ付く貧乏なし、

お山の動物達はこれから仕事  
に出掛けるのです

13、親子三人きりの狸や熊の一家  
に比べると猿の一家はまるで

お祭の様な賑やかさです

14、さあ仕事が始まりました  
熊も猿も狸もみんな一生懸  
命です

15、ヤあ 好いもの みつけたーッと

【8頁、下段】

【9頁、上段】

3

【9頁、中段】

16、あれッ

17、わーい捕まるものか

18、それ飛び方 はじめ

19、ようし捕まへちやうぞ

20、おーいみんな逃がすなよ

21、あれ あっ 鳥逃がしたか！

22、また子供の悪戯がはじまったよ

23、なんてうるさい子供達なんだ  
らう

【9頁、下段】

音楽

木の倒れる音  
小鳥の声

【10頁上段】

【10頁中段】

24、夜が来ました  
25、ところが其の夜は物凄い大嵐  
になりました

26、猿の家では沢山の子供が役に  
立って嵐と闘ひましたが

27、わづか親子三人だけの熊の家  
では必死になって嵐と闘ひま  
した

28、けれど衆寡敵せず 可哀想に  
子熊は家もろ共崖から墜落し  
て河に流されて仕舞ひました

【10頁下段】

【11頁上段】

4

【11頁中段】

29、救けてくれー救けてー  
30、待つてみなさいよ今救けるから  
31、あッ有り難い  
32、あれ あれ  
33、あア驚いた  
34、これでよかった  
35、あ あッ  
36、救けてー

【11頁、下段】  
音楽

【12頁、上段】

【12頁、中段】

37、よーしあッ しまった  
38、さあこれに掴まりなさい  
39、おや〜うあーッ  
40、救けてくれ

41、それ お山の一大事熊さん  
親子を救けよう

42、よしわしが奥の手を出すぞ  
43、さあしつかり掴まって  
44、おや〜うあー

【12頁、下段】

【13頁、上段】

5

【13頁、中段】

45、さあみんな張り切って行きま  
せう  
46、救けてくれー  
47、今日こそ私達の力をみせる時  
です  
48、よし心得た  
49、さあ早く〜お手をつないで  
50、それ あ もう一息だ しめたぞ  
51、やれ有り難い〜やっとなんか  
た

【13頁、下段】  
音楽

【14頁、上段】  
4、終り

【15頁、中段】

52、危ぶないところへ駆けつけた

小猿たちの鮮やかな救助作業が

成巧して熊の親子も狸の親子

も見事に救はれました

53、今までは厄介だと思つてゐた

子供は多ければ多いほど非常

時の役に立つことがわかりました

54、それからお山は生めよ殖やせ

よ地に満ちて日に増し榮へて

ゆきました

【15頁、下段】

【データ採録者…加藤宏明】

【データ校正…笠原亮介】